

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成30年11月分【埋立中調査①】)

【廃棄物処分場周辺 水質】

【廃棄物搬入施設周辺 大気質・騒音・振動・交通量】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市 港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



# 目 次

## I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 12
3. 調査結果の概要	I - 13

## II 事後調査結果

1. 水質（廃棄物処分場周辺）	II - 1
2. 大気質（廃棄物搬入施設周辺）	II - 7
3. 騒音・振動（廃棄物搬入施設周辺）	II - 16
4. 交通量（廃棄物搬入施設周辺）	II - 25



## I 事後調査の概要



## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 30 年 11 月の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1(1) 事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	11月1日～30日	通年連続

表－1(2) 事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	11月1日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

表一(3) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質 (放流水、内水及び護岸外周(1)))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度 水温 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	放流水 1点	11月1日～30日	連続測定
浮遊物質量(SS) 不揮発性浮遊物質量(FSS)	放流水 1点 内水 1点	11月6日、13日、20日、27日	1回/週
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 全窒素(T-N)	(処理原水)	11月13日	1回/月
全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数		11月13日	4回/年 (5月、8月、11月、2月)
透明度 水温 塩分 浮遊物質量(SS) 不揮発性浮遊物質量(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m  n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査	11月1日	4回/年 (5月、8月、11月、2月)

表-1(4) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質 (放流水、内水及び護岸外周(2)))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
<p>●健康項目等</p> <p>カドミウム</p> <p>全シアン</p> <p>鉛</p> <p>六価クロム</p> <p>砒素</p> <p>総水銀</p> <p>アルキル水銀</p> <p>PCB</p> <p>ジクロロメタン</p> <p>四塩化炭素</p> <p>1,2-ジクロロエタン</p> <p>1,1-ジクロロエチレン</p> <p>シス-1,2-ジクロロエチレン</p> <p>1,1,1-トリクロロエタン</p> <p>1,1,2-トリクロロエタン</p> <p>トリクロロエチレン</p> <p>テトラクロロエチレン</p> <p>1,3-ジクロロプロペン</p> <p>チウラム</p> <p>シマジン</p> <p>チオベンカルブ</p> <p>ベンゼン</p> <p>セレン</p> <p>フェノール類</p> <p>銅</p> <p>亜鉛</p> <p>溶解性鉄</p> <p>溶解性マンガン</p> <p>全クロム</p> <p>陰イオン界面活性剤</p> <p>有機燐</p> <p>ほう素</p> <p>ふっ素</p> <p>アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)</p> <p>1,4-ジオキサン</p> <p>塩化ビニルモノマー</p> <p>1,2-ジクロロエチレン</p>	<p>放流水 1点</p> <p>内水 1点</p> <p>(処理原水)</p> <p>護岸外周 3点×2層</p> <p>(護岸から30m)</p> <p>【19, 20, 21】</p> <p>上層:海面下1m</p> <p>下層:海底面上2m</p> <p>塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエチレンは護岸外周のみ調査</p>	<p>放流水、内水</p> <p>11月13日</p> <p>護岸外周</p> <p>11月1日</p>	<p>放流水、内水</p> <p>4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p> <p>護岸外周</p> <p>4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p>
<p>ダイオキシン類</p>	<p>ダイオキシン類は上層のみ調査</p>	<p>放流水</p> <p>11月13日</p> <p>内水</p> <p>—</p> <p>護岸外周</p> <p>—</p>	<p>放流水 4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p> <p>内水 2回/年</p> <p>(8月、2月)</p> <p>護岸外周 1回/年</p> <p>(8月)</p>

表一(5) 事後調査の概要 (廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質 (処分場周辺))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質量(SS) 不揮発性浮遊物質量(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	6点(護岸から500m)×2層 【13, 14, 15, 16, 17, 18】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m  n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査	11月1日	4回/年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機磷 1,4-ジオキサン		—	2回/年 (8月、2月)

表－１（６）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 底質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全燐(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) 【2, 3, 4, 5】	—	2回／年 (8月、2月)

表－１（７）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 底質（処分場周辺））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全燐(T-P) 酸化還元電位	1点(表層土) 【15】	—	2回／年 (8月、2月)
●有害項目＜含有量試験＞ アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機燐 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル バナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン			

表－1(8) 事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 騒音・低周波空気振動）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波空気振動音圧レベル	1点(大阪南港野鳥園)	—	2回／年 (4月、10月)

表－1(9) 事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 悪臭）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点(大阪南港野鳥園)	—	2回／年 (8月、9月)

表－1(10) 事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 陸域生態系（鳥類））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 【a, b, c, d】	実施年に該当せず	4回／年(2年おきに実施) (5月、6月、8月、2月)

表－２（１）事後調査の概要（廃棄物搬入施設に係る調査 大気質、騒音、振動、交通量、悪臭）

調査項目		調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質	二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	搬入ルート沿道		1週間×4回／年 (5月、8月、11月、2月)
		大阪基地 :2点 【No.2、3】	11月8日～14日	
		堺基地 :2点 【No.1、2】	11月16日～22日	
		泉大津基地 :2点 【No.A、B】	11月24日～30日	
騒音	道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道		2回／年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
		大阪基地 :2点 【No.2、3】	11月8日	
		堺基地 :2点 【No.1、2】	11月16日	
		泉大津基地 :2点 【No.A、B】	11月27日	
振動	道路交通振動レベル	搬入ルート沿道		2回／年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
		大阪基地 :2点 【No.2、3】	11月8日	
		堺基地 :2点 【No.1、2】	11月16日	
		泉大津基地 :2点 【No.A、B】	11月27日	
交通量	廃棄物輸送車 一般車	搬入ルート沿道		4回／年 (操業時間帯に実施) (5月、8月、11月、2月)
		大阪基地 :3点 【No.1、2、4】	11月8日	
		堺基地 :4点 【No.1、2、3、4】	11月16日	
		泉大津基地 :3点 【No.A、B、C】	11月27日	
悪臭	臭気強度 臭気指数	敷地境界		2回／年 (6月、8月)
		大阪基地 :2点(風上、風下) 【No.5、6】	—	
		堺基地 :2点(風上、風下) 【No.5、6】		
		泉大津基地 :2点(風上、風下) 【No.D1、D2】		

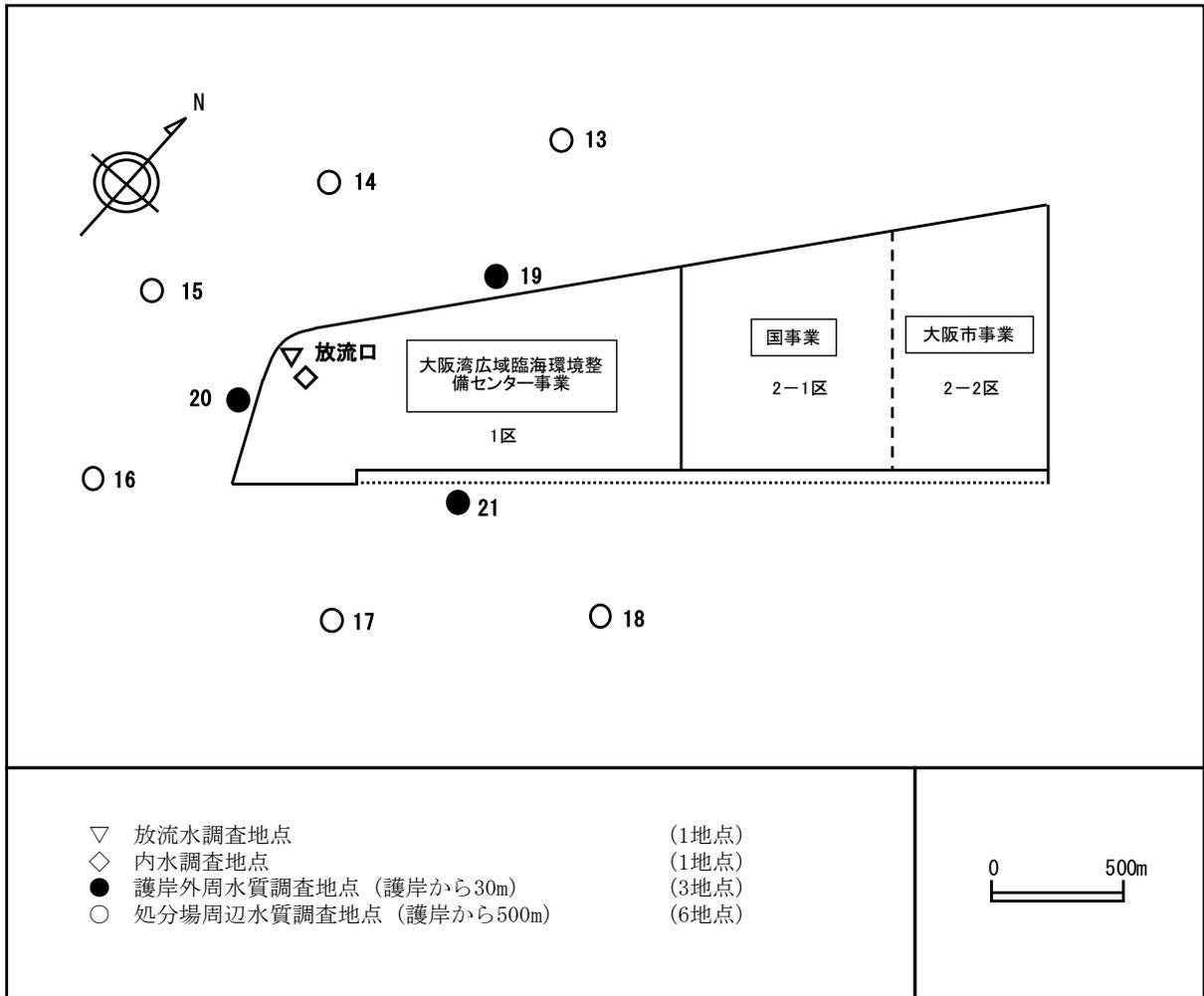


図-1(1) 廃棄物処分場周辺における水質の調査地点(平成30年11月)

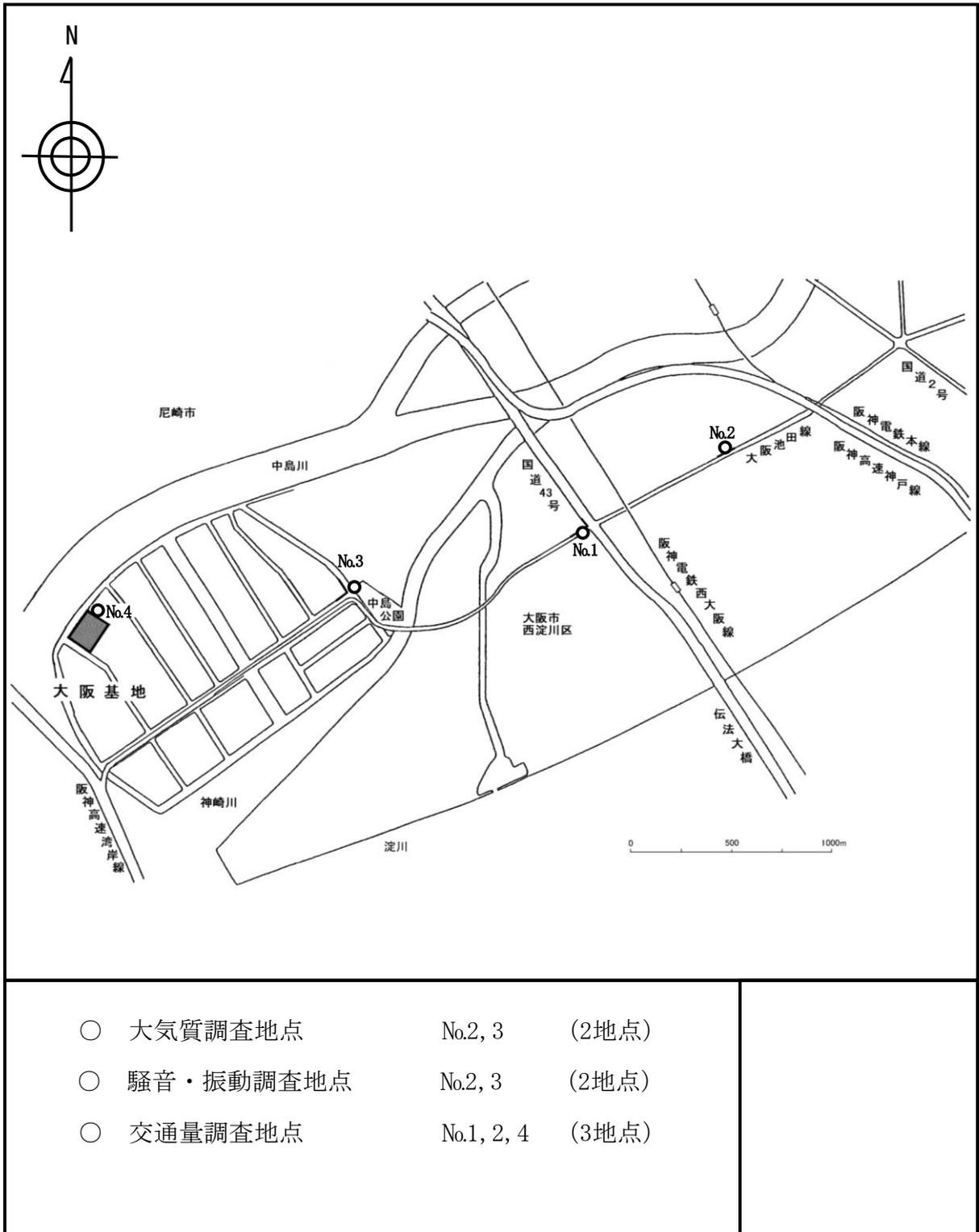


図-1(2) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(大阪基地) (平成 30 年 11 月)

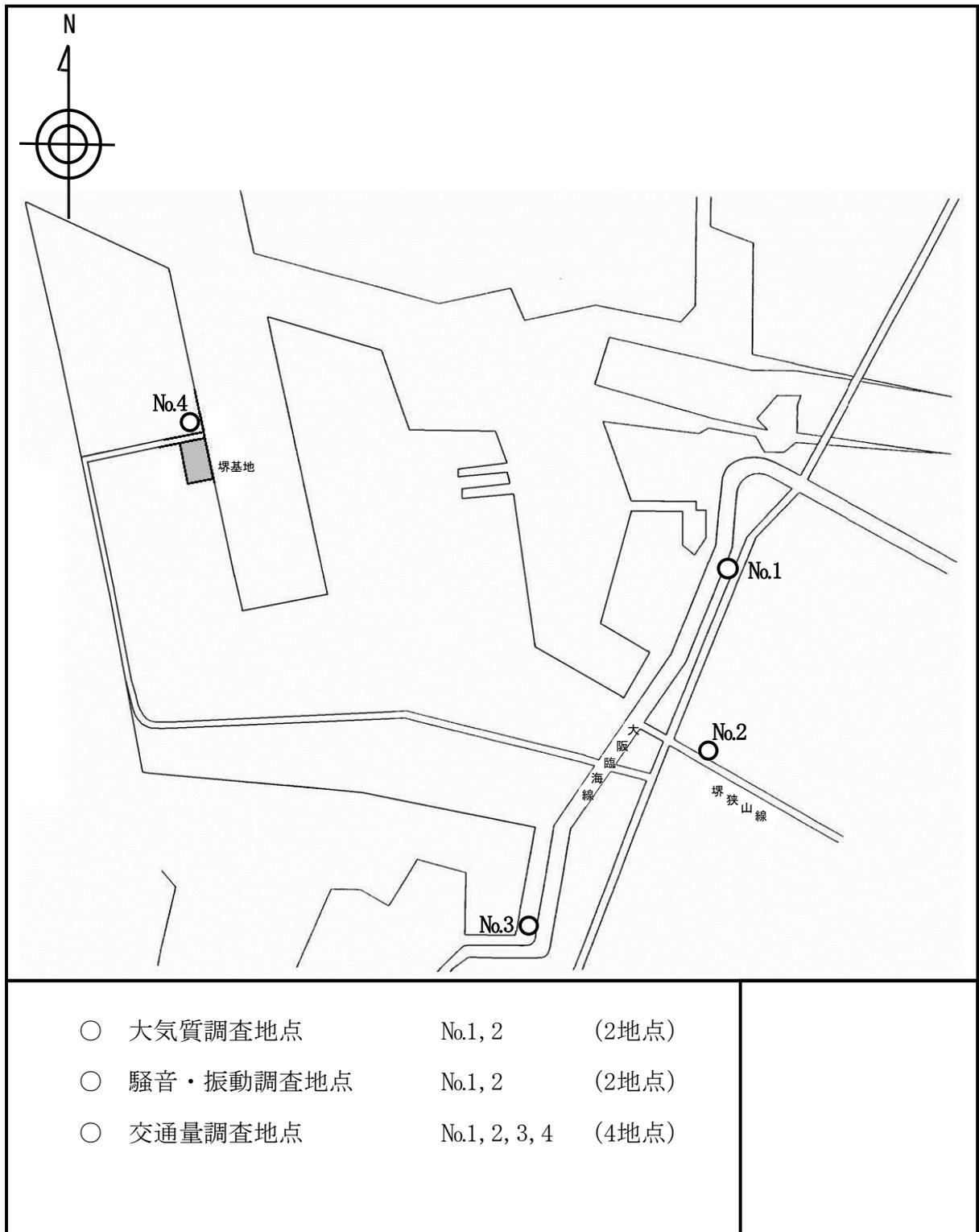


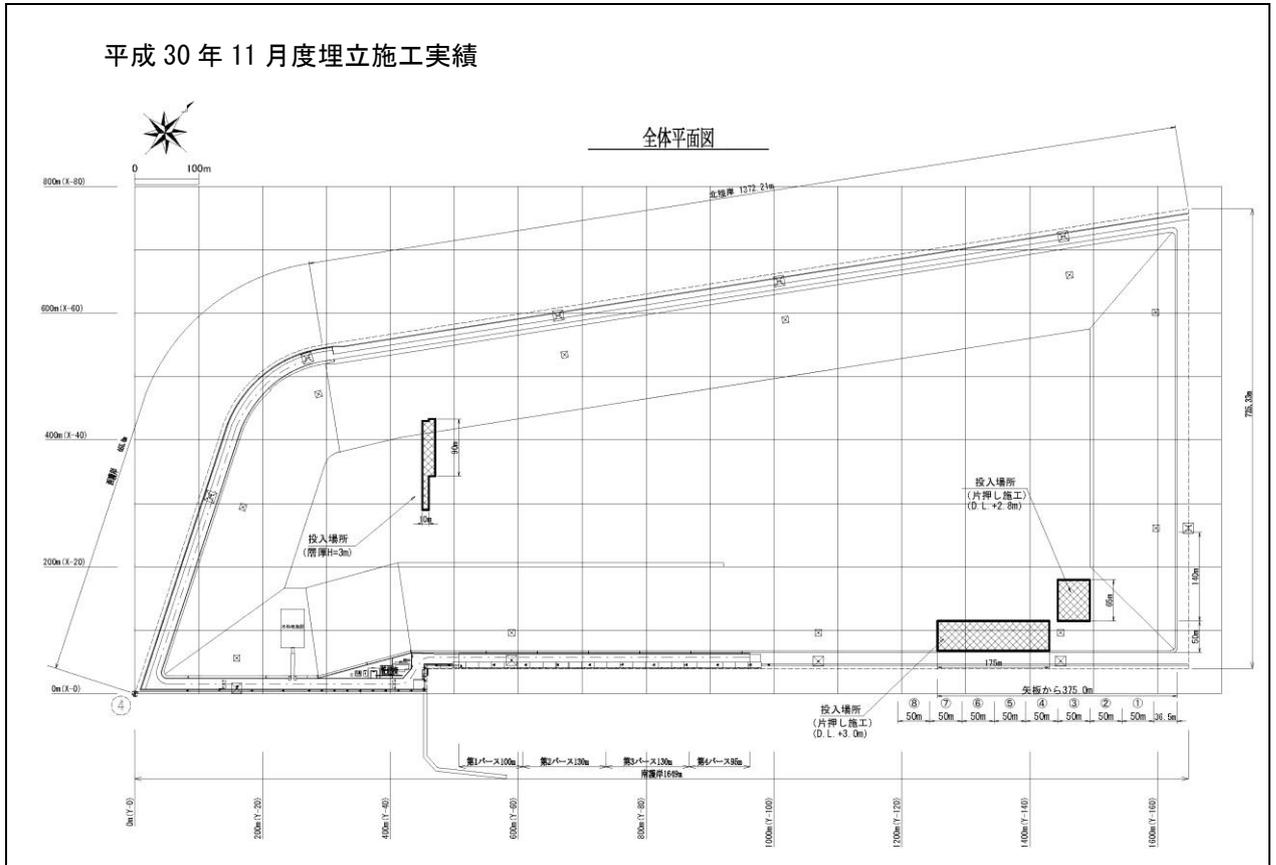
図-1(3) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(塚基地) (平成 30 年 11 月)



図一(4) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(泉大津基地) (平成 30 年 11 月)

## 2. 工事の実施状況

平成 30 年 11 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
4,833,749	34.6

埋立容量 (計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (平成 30 年 11 月)

### 3. 調査結果の概要

#### 廃棄物処分場の埋立に係る調査

##### (1) 大気質

平成 30 年 11 月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】に記載

##### (2) 水質

###### ①一般項目

平成 30 年 11 月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】に記載

###### ②-1 放流水、内水及び護岸外周 [水質様式第 6～10、12 号]

###### 1) 放流水 (連続測定)

濁度は、3.2～4.6 度(カリン) (平均値 3.7 度(カリン)) の範囲であった。

水温は、15.9～19.6℃ (平均値 17.9℃) の範囲であった。

pH は、7.4～7.9 の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値 (5.0 以上 9.0 以下) の範囲内であった。

COD は、23.9～28.0mg/L (平均値 26.3mg/L) の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値 (90mg/L) 及び管理目標値 (40mg/L) を下回っていた。

DO は、5.3～7.1mg/L (平均値 6.5mg/L) の範囲であった。

###### 2) 放流水、内水

###### ・放流水

SS は、2～3mg/L (平均値 3mg/L) の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値 (60mg/L) 及び管理目標値 (50mg/L) を下回っていた。

FSS は、報告下限値未満 (<1mg/L) ～2mg/L であった。

pH は、7.8 であり、放流水の基準値及び管理目標値 (5.0 以上 9.0 以下) の範囲内であった。

COD は、23mg/L であり、放流水の基準値 (90mg/L) 及び管理目標値 (40mg/L) を下回っていた。

T-N は、14mg/L であり、放流水の基準値 (120mg/L、日間平均 60mg/L) 及び管理目標値 (30mg/L) を下回っていた。

T-P は、0.06mg/L であり、放流水の基準値 (16mg/L、日間平均 8mg/L) 及び管理目標値 (4mg/L) を下回っていた。

n-ヘキサン抽出物質は、報告下限値未満 (<0.5mg/L) であり、放流水の基準値及び管理目標値 (鉱油類含有量 5mg/L、動植物油脂類含有量 30mg/L) を下回っていた。

大腸菌群数は、0 個/cm<sup>3</sup> であり、放流水の基準値及び管理目標値 (日間平均 3,000 個/cm<sup>3</sup> 以下) を下回っていた。

健康項目等については、事後調査報告書 (平成 30 年 11 月分【埋立中調査②】) で報告する。

・内水

SSは、7～8mg/L（平均値 8mg/L）の範囲であった。

FSSは、3～5mg/L（平均値 4mg/L）の範囲であった。

pHは 8.5、CODは 28mg/L、T-Nは 15mg/L、T-Pは 0.14mg/L、n-ヘキサン抽出物質は報告下限値未満（<0.5mg/L）、大腸菌群数は 1 個/cm<sup>3</sup>であった。

健康項目等については、事後調査報告書（平成 30 年 11 月分【埋立中調査②】）で報告する。

3) 護岸外周

ア) 浮遊物質（SS）

浮遊物質（SS）は上層は全ての地点で 2mg/L、下層は全ての地点で 4mg/L であった。

イ) 不揮発性浮遊物質（FSS）

不揮発性浮遊物質(FSS)は上層、下層共に全ての地点で報告下限値未満（<1mg/L）であった。

ウ) 水素イオン濃度（pH）【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度（pH）は上層で 8.1～8.2、下層では全ての調査地点で 8.1 であり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

エ) 化学的酸素要求量（COD）【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量（COD）は上層で 2.3～2.8mg/L、下層で 1.7～2.0mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値以下であった。

オ) 溶存酸素量（DO）【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量（DO）は上層で 8.1～8.2mg/L、下層で 6.4～7.3mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

カ) 全窒素（T-N）【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素（T-N）は上層で 0.44～0.68mg/L、下層で 0.29～0.46mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 19、21 において環境基準を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 19（0.68mg/L）、調査地点 21（0.64mg/L）であった。廃棄物等受入前に実施した当海域周辺（調査地点 13～18）の調査結果は、上層で 0.40～1.4mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

キ) 全燐（T-P）【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐（T-P）は上層で 0.044～0.060mg/L、下層で 0.035～0.046mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 19、21 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境

基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 19 (0.060mg/L)、調査地点 21 (0.059mg/L) であった。廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 13~18)の調査結果は、上層で 0.033~0.18mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

ク) n-ヘキサン抽出物質【環境基準値：検出されないこと】

n-ヘキサン抽出物質は全ての調査地点において報告下限値未満 (<0.5mg/L) であり、環境基準値を満たしていた。

ケ) 大腸菌群数

大腸菌群数  $2.3 \times 10^1 \sim 9.4 \times 10^1$ MPN/100mL の範囲であった。

コ) 健康項目等

事後調査報告書(平成 30 年 11 月分【埋立中調査②】)で報告する。

②-2 処分場周辺 [水質様式第 16 号]

1) 濁度

濁度は上層で 2~4 度(カリン)、下層で 3~8 度(カリン)の範囲であった。

2) 浮遊物質(SS)

浮遊物質(SS)は上層で 2~3mg/L、下層で 2~5mg/L の範囲であった。

3) 不揮発性浮遊物質(FSS)

不揮発性浮遊物質(FSS)は上層ですべて報告下限値未満 (<1mg/L)、下層で報告下限値未満 (<1mg/L) ~1mg/L の範囲であった。

4) 水素イオン濃度(pH)【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度(pH)は上層で 8.1~8.2、下層は全ての地点で 8.1 であり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

5) 化学的酸素要求量(COD)【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量(COD)は上層で 2.8~3.3mg/L、下層で 2.2~2.3mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 13、14 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層における調査地点 13 (3.3mg/L)、調査地点 14 (3.2mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺(調査地点 13~18)の調査結果は、上層で 2.1~8.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 7.9～8.5mg/L、下層で 6.8～7.4mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

7) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.46～0.77mg/L、下層で 0.20～0.33mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 13、18 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 13 (0.76mg/L)、調査地点 18 (0.77mg/L) であった。廃棄物等受入前に実施した当海域周辺の調査結果は、上層で 0.40～1.4mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

8) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.044～0.079mg/L、下層で 0.033～0.042mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 13、14、17、18 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 13 (0.066mg/L)、調査地点 14 (0.054mg/L)、調査地点 17 (0.051mg/L)、調査地点 18 (0.079mg/L) であったが、廃棄物等受入前に実施した当海域周辺 (調査地点 13～18) の調査結果は、上層で 0.033～0.18mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

9) カロフィル a

カロフィル a は上層で 3.2～11  $\mu$ g/L、下層で 1.6～2.5  $\mu$ g/L の範囲であった。

10) n-ヘキサン抽出物質 【環境基準値：検出されないこと】

n-ヘキサン抽出物質は全ての調査地点において報告下限値未満 (<0.5mg/L) であり、環境基準値を満たしていた。

11) 大腸菌群数

大腸菌群数は  $4.0 \times 10^0 \sim 4.6 \times 10^1$ MPN/100mL の範囲であった。

12) カドミウム等

11 月は実施せず。

(3) 底質

11 月は実施せず。

#### (4) 騒音・低周波空気振動

11月は実施せず。

#### (5) 悪臭

11月は実施せず。

#### (6) 陸域生態系（鳥類）

今年度は実施せず。

### 廃棄物搬入施設に係る調査

#### (1) 大気質 [大気質様式第9～16号]

##### 1) 大阪基地

###### ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北北西であり、平均風速は 1.8m/sec であった。

###### イ) 中島公園近傍の測定点 (No. 3)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北北東であり、平均風速は 2.1m/sec であった。

##### 2) 堺基地

###### ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 1)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東南東であり、平均風速は 0.9m/sec であった。

###### イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東であり、平均風速は 1.7m/sec であった。

##### 3) 泉大津基地

###### ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. A)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東北東であり、平均風速は 1.1m/sec であった。

###### イ) 泉大津美原線沿道の測定点 (No. B)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は南であり、平均風速は 0.8m/sec であった。

## (2) 騒音・振動 [騒音・振動様式第5～8号]

### 1) 大阪基地

#### ① 騒音

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

騒音レベル( $L_{Aeq}$ )は 69.0～70.7dB(平均 70dB)であり、環境基準値 (70dB)・要請限度値 (75dB)以下であった。

イ) 中島公園近傍の測定点 (No. 3)

騒音レベル( $L_{Aeq}$ )は 52.2～57.5dB(平均 56dB)であり、環境基準値(65dB)・要請限度値 (75dB)を下回っていた。

#### ② 振動

測定点No. 2における振動レベル( $L_{10}$ )は 42～47dB(平均 45dB)であり、測定点No. 3では 36～39dB(平均 38dB)であった。振動レベルは、共に要請限度値(65dB)を下回っていた。

### 2) 堺基地

#### ① 騒音

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 1)

騒音レベル( $L_{Aeq}$ )は 74.1～77.0dB(平均 75dB)であり、要請限度値(75dB) を超過していなかったが、環境基準値(70dB)を上回っていた。

なお、1時間値では、全ての時間帯で環境基準を超え、10～12時、14～15時台で要請限度を超える結果となったが、この地点の主要音源は自動車走行騒音であり、廃棄物輸送車両の総交通量に占める割合が0～0.7%であるため、本事業の廃棄物輸送車両による騒音への影響は小さいと考えられる。

イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No. 2)

騒音レベル( $L_{Aeq}$ )は 63.9～66.0dB(平均 65dB)であり、環境基準値(70dB)・要請限度値 (75dB)を下回っていた。

#### ② 振動

測定点No. 1における振動レベル( $L_{10}$ )は 48～51dB(平均 50dB)であり、測定点No. 2では 38～43dB(平均 41dB)であった。両地点 (No. 1、No. 2)の振動レベルはそれぞれの要請限度値 (65dB、70dB)を共に下回っていた。

### 3) 泉大津基地

#### ① 騒音

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. A)

騒音レベル( $L_{Aeq}$ )は 64.3～66.0dB(平均 65dB)であり、環境基準値(70dB)・要請限度値 (75dB)を下回っていた。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 (No. B)

騒音レベル( $L_{Aeq}$ )は 70.3～72.8dB(平均 72dB)であり、要請限度値(75dB)を下回っていたが、

環境基準値(70dB)を上回っていた。

なお、1時間値では8～17時の時間帯で環境基準を超える結果となったが、この地点の主要音源は自動車走行騒音であり、この時間帯の廃棄物輸送車両の時間交通量に占める割合が0～0.6%であるため、本事業の廃棄物輸送車両による騒音への影響は小さいと考えられる。

## ② 振動

測定点 No. Aにおける振動レベル( $L_{10}$ )は41～48dB(平均45dB)であり、測定点 No. Bでは36～43dB(平均40dB)であった。振動レベルは、共に要請限度値(70dB)を下回っていた。

## (3) 交通量 [交通量様式第1～2号]

### 1) 大阪基地

#### ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 1)

時間交通量は1,054～1,543台、廃棄物輸送車の時間交通量は0～8台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は35台/10hrで、総交通量(12,857台/10hr)に占める割合は0.3%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

#### イ) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

時間交通量は912～1,582台、廃棄物輸送車の時間交通量は0～5台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は23台/10hrで、総交通量(12,563台/10hr)に占める割合は0.2%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

#### ウ) 大阪基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は86～219台、廃棄物輸送車の時間交通量は0～24台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は118台/10hrで、総交通量(1,510台/10hr)に占める割合は7.8%であった。

### 2) 堺基地

#### ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 1)

時間交通量は2,049～3,066台、廃棄物輸送車の時間交通量は0～16台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は69台/10hrで、総交通量(25,941台/10hr)に占める割合は0.3%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

#### イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No. 2)

時間交通量は1,310～1,753台、廃棄物輸送車の時間交通量は0～4台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は18台/10hrで、総交通量(15,558台/10hr)に占める割合は0.1%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

#### ウ) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 3)

時間交通量は1,752～3,078台、廃棄物輸送車の時間交通量は0～12台で推移し、測定日

の廃棄物輸送車総交通量は54台/10hrで、総交通量(24,492台/10hr)に占める割合は0.2%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

エ) 堺基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は32~67台、廃棄物輸送車の時間交通量は9~67台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は342台/9hrで、総交通量(384台/9hr)に占める割合は89.1%であった。

3) 泉大津基地

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. A)

時間交通量は2,149~2,959台、廃棄物輸送車の時間交通量は0~16台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は76台/10hrで、総交通量(24,082台/10hr)に占める割合は0.3%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 (No. B)

時間交通量は806~1,052台、廃棄物輸送車の時間交通量は0~5台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は26台/10hrで、総交通量(8,774台/10hr)に占める割合は0.3%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 泉大津基地近傍の測定点 (No. C)

時間交通量は212~420台、廃棄物輸送車の時間交通量は0~27台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は182台/10hrで、総交通量(3,428台/10hr)に占める割合は5.3%であった。

(4) 悪臭

11月は実施せず。

《 参 考 》 環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

(2) 水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L 以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L 以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって 75%水質値（0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音(道路に面する地域)

廃棄物 搬入施設	測定地点	用途 地域	地域 区分	騒音に係る 環境基準値 (d B)	
				区域 区分	基準
大阪 基地	No.2 (大阪池田線沿道)	準住居	幹線 道路 (4)	特例	70
	No.3 (中島公園近傍)	第1種 住居	(2)	B	65
堺 基地	No.1 (大阪臨海線沿道)	第1種 住居	幹線 道路 (6)	特例	70
	No.2 (堺狭山線沿道)	近隣 商業	幹線 道路 (4)	特例	
泉 大津 基地	No.A (大阪臨海線沿道)	準工業	幹線 道路 (6)	特例	70
	No.B (泉大津美原線沿道)	準工業	幹線 道路 (4)	特例	

- 注：1. 上表の環境基準は、いずれも昼間の時間の区分に係るものである。  
 (昼間) 騒音に係る環境基準：午前6時から午後10時まで
2. 地域区分の欄の「幹線道路」は「道路に面する地域」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」のことである。( )内は面する道路の車線数である。
3. 区域区分は以下のとおりである。  
 幹線道路を担う道路に近接する空間は特例  
 B地域(第1種住居地域)のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域
4. 騒音に係る環境基準は $L_{Aeq}$ によるものである。

## 2. 規制基準値等

### (1) 水質（放流水）

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理型最終処分場	水素イオン濃度（pH）	5.0以上9.0以下	同左
	化学的酸素要求量（COD）	90mg/L以下	40mg/L以下
	浮遊物質（SS）	60mg/L以下	50mg/L以下
	全窒素（T-N）	120mg/L（日間平均60mg/L）以下	30mg/L以下
	全リン（T-P）	16mg/L（日間平均8mg/L）以下	4mg/L以下
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量（n-ヘキサン抽出物質）	鉱油類含有量：5mg/L以下 動植物油脂類含有量：30mg/L以下	同左
	大腸菌群数	日間平均3000個/cm <sup>3</sup> 以下	同左

- 注）1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一より抜粋  
2. 管理目標値は、事後調査計画における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

### (2) 騒音・振動（要請限度）

廃棄物搬入施設	測定地点	用途地域	地域区分	自動車騒音の要請限度（dB（A））		道路交通振動の要請限度（dB）	
				区域区分	限度	区域区分	限度
大阪基地	No.2（大阪池田線沿道）	準住居	幹線道路（4）	b	75	第1種	65
	No.3（中島公園近傍）	第1種住居	（2）				
堺基地	No.1（大阪臨海線沿道）	第1種住居	幹線道路（6）	b	75	第1種	65
	No.2（堺狭山線沿道）	近隣商業	幹線道路（4）				
泉大津基地	No.A（大阪臨海線沿道）	準工業	幹線道路（6）	c	75	第2種	70
	No.B（泉大津美原線沿道）	準工業	幹線道路（4）				

- 注：1. 上表の環境基準及び要請限度は、いずれも昼間の時間の区分に係るものである。  
（昼間）自動車騒音の要請限度：午前6時から午後10時まで  
道路交通振動の要請限度：午前6時から午後9時まで
2. 地域区分の欄の「幹線道路」は「道路に面する地域」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」のことである。（ ）内は面する道路の車線数である。
3. 区域区分は以下のとおりである。  
（自動車騒音の要請限度） b区域（第1種住居地域、準住居地域）のうち車線を有する道路に面する区域  
c区域（準工業地域）のうち車線を有する道路に面する区域  
（道路交通振動の要請限度） 第1種住居地域、準住居地域は第1種区域  
近隣商業地域、準工業地域は第2種区域
4. 道路交通騒音の要請限度は $L_{Aeq}$ 、道路交通振動の要請限度は $L_{10}$ によるものである。

3. 廃棄物等受入前調査結果（平成 20 年 5, 8, 11 月、平成 21 年 2, 5, 8 月・水質（処分場周辺））

項目	区分	廃棄物等受入前調査 (平成 20 年 5, 8, 11 月、平成 21 年 2, 5, 8 月) 処分場周辺 (調査地点 13~18)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	8.0 ~ 8.7 (19/36)	-
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/36)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	2.1 ~ 8.1 (26/36)	4.3 ~ 5.8 (6/6)
	下層	1.5 ~ 3.3 (3/36)	2.4 ~ 3.0 (0/6)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	7.5 ~ 12 (0/36)	9.1 ~ 9.8
	下層	1.9 ~ 9.5 (9/36)	5.8 ~ 7.0
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]	上層	<0.5 ~ <0.5 (0/36)	<0.5 ~ <0.5
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.40 ~ 1.4	0.65 ~ 0.92 (6/6)
	下層	0.18 ~ 0.79	0.32 ~ 0.44 (0/6)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.033 ~ 0.18	0.067 ~ 0.097 (6/6)
	下層	0.014 ~ 0.16	0.034 ~ 0.075 (4/6)

注) 1. 「最大~最小」の値は、調査地点 13~18 におけるそれぞれ全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m: 環境基準を満たしていないデータ数、n: 総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における期間平均値の最小~最大を示す。

## II 事後調查結果



水質調査結果（放流水（連続測定：総括））

[ 平成 30 年 11 月分 ]

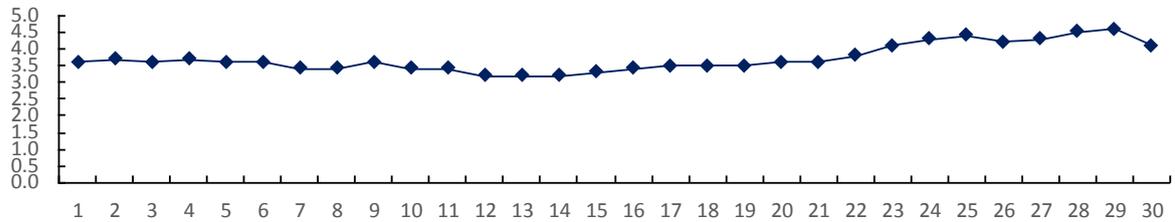
項目	区分	放流水			
		最小値	～	最大値	平均値
濁度	[度(カサ)]	3.2	～	4.6	3.7
水温	[℃]	15.9	～	19.6	17.9
pH	[－]	7.4	～	7.9	7.6
COD	[mg/L]	23.9	～	28.0	26.3
DO	[mg/L]	5.3	～	7.1	6.5

特記事項
------

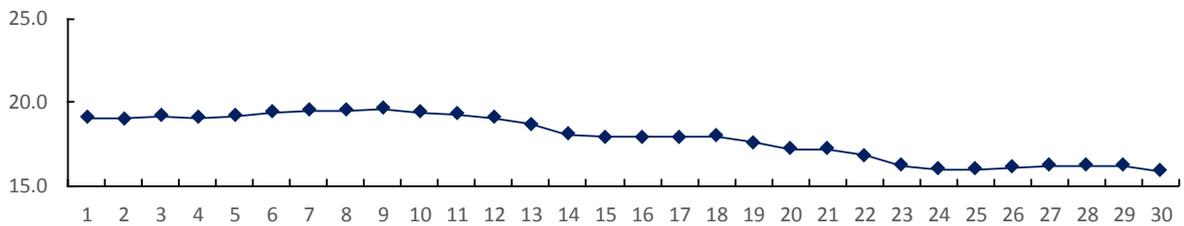
水質調査結果（放流水（連続測定））

[平成30年 11月分]

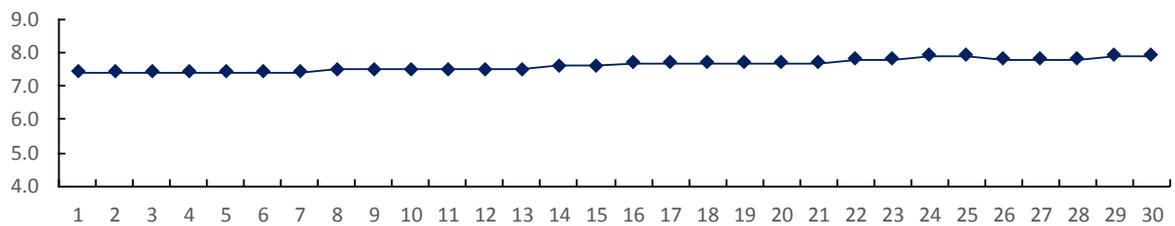
濁度 [度(カリン)]



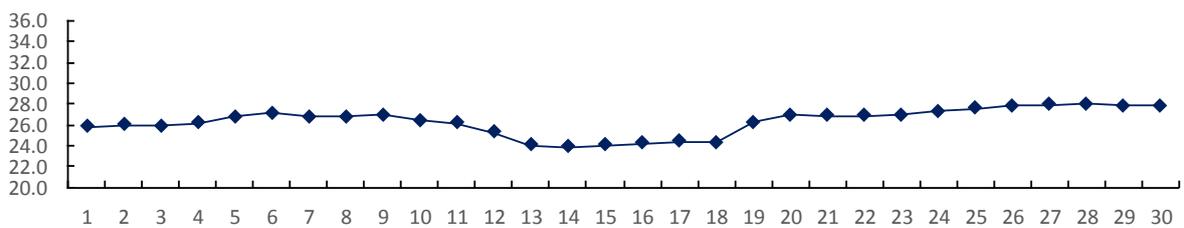
水温 [°C]



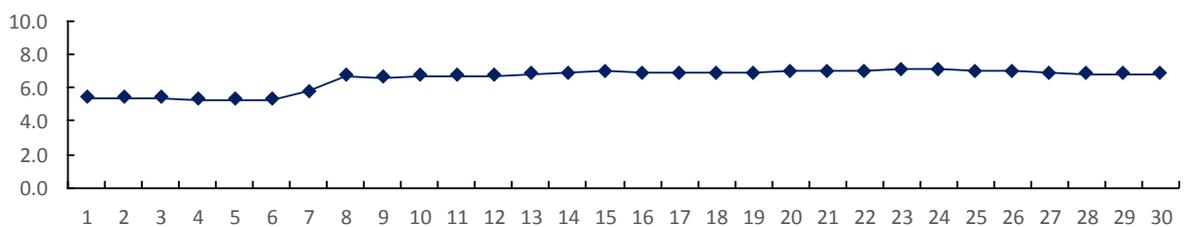
水素イオン濃度 (pH) [-]



化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]



溶存酸素量 (DO) [mg/L]



水質調査結果（放流水、内水①）〔平成 30 年 11 月分〕

調査日	区分	放流水			内水		
	項目	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]
11/6 (火)		10:00	3	2	9:40	8	5
11/13 (火)		9:50	2	< 1	10:05	7	3
11/20 (火)		10:10	2	< 1	10:00	8	3
11/27 (火)		10:00	3	< 1	9:40	7	4
平均値		—	3	1	—	8	4
最小値		—	2	< 1	—	7	3
最大値		—	3	2	—	8	5

特記事項

水質様式第9号

水質調査結果（放流水、内水②）[平成30年11月分]

調査日：平成30年11月13日

項目	区分	放流水	内水
	時刻		9:50
pH	[-]	7.8(26℃)	8.5(25℃)
COD	[mg/L]	23	28
T-N	[mg/L]	14	15

特記事項
------

水質様式第10号

水質調査結果（放流水、内水③）[平成30年11月分]

調査日：平成30年11月13日

項目	区分	放流水	内水	
	時刻		9:50	10:05
T-P	[mg/L]	0.06	0.14	
n-ヘキサン抽出物質	[mg/L]	< 0.5	< 0.5	
	鉍油類含有量	[mg/L]	< 0.5	< 0.5
	動植物油脂含有量	[mg/L]	< 0.5	< 0.5
大腸菌群数	[個/cm <sup>3</sup> ]	0	1	

特記事項
------

水質調査結果（護岸外周①）[平成 30 年 11 月分]

調査日：平成30年11月1日

項目	調査点		21	最小値 ~ 最大値			平均値	
	19	20		2.7	3.9	3.3		
時刻	9:10	10:16	9:28	—			—	
透明度 [m]	3.9	3.4	2.7	2.7	~	3.9	3.3	
水温 [°C]	19.3	19.7	20.6	19.3	~	20.6	19.9	
	21.1	21.2	21.1	21.1	~	21.2	21.1	
塩分 [-]	27.5	29.8	29.3	27.5	~	29.8	28.9	
	31.8	31.8	31.6	31.6	~	31.8	31.7	
濁度 [度(カリン)]	2	3	3	2	~	3	3	
	7	8	4	4	~	8	6	
浮遊物質量 (SS) [mg/L]	2	2	2	2	~	2	2	
	4	4	4	4	~	4	4	
不揮発性浮遊物質量 (FSS) [mg/L]	<1	<1	<1	<1	~	<1	<1	
	<1	<1	<1	<1	~	<1	<1	
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.1	8.2	8.2	8.1	~	8.2	—	
	8.1	8.1	8.1	8.1	~	8.1	—	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	2.8	2.3	2.6	2.3	~	2.8	2.6	
	2.0	1.8	1.7	1.7	~	2.0	1.8	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	8.1	8.2	8.1	8.1	~	8.2	8.1
		7.3	6.4	6.8	6.4	~	7.3	6.8
	飽和度 [%]	104	107	107	104	~	107	106
		99	87	92	87	~	99	93
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.68	0.44	0.64	0.44	~	0.68	0.59	
	0.35	0.29	0.46	0.29	~	0.46	0.37	
全磷 (T-P) [mg/L]	0.060	0.044	0.059	0.044	~	0.060	0.054	
	0.035	0.046	0.043	0.035	~	0.046	0.041	
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	~	<0.5	<0.5	
大腸菌群数 [MPN/100mL]	$9.4 \times 10^1$	$2.3 \times 10^1$	$4.6 \times 10^1$	$2.3 \times 10^1$	~	$9.4 \times 10^1$	$5.4 \times 10^1$	

注) 上段：上層（海面下1m）  
 下段：下層（海底面上2m）  
 但し、n-ヘキサン抽出物質及び大腸菌群数は、上層の値を示している。

特記事項
------

水質様式第 16 号

水質調査結果（処分場周辺①）〔平成 30 年 11 月分〕

調査日：平成30年11月1日

調査点		13	14	15	16	17	18	最小値 ~ 最大値	平均値
項目									
時刻		9:00	9:27	9:40	10:01	9:46	9:09	—	—
透明度	[m]	3.7	4.5	4.5	2.8	2.2	2.3	2.2 ~ 4.5	3.3
水温	[°C]	19.1	19.1	19.5	19.7	20.7	19.6	19.1 ~ 20.7	19.6
		21.3	21.2	21.2	21.1	21.1	21.1	21.1 ~ 21.3	21.2
塩分	[—]	26.2	28.5	29.6	29.9	29.9	26.1	26.1 ~ 29.9	28.4
		31.8	31.8	31.8	31.9	31.7	31.7	31.7 ~ 31.9	31.8
濁度	[度(カリン)]	3	2	2	2	4	4	2 ~ 4	3
		4	4	3	7	8	7	3 ~ 8	6
浮遊物質量	[mg/L]	3	2	2	2	2	3	2 ~ 3	2
(SS)		3	3	5	4	2	3	2 ~ 5	3
不揮発性浮遊物質量	[mg/L]	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1 ~ <1	<1
(FSS)		<1	<1	1	<1	<1	<1	<1 ~ 1	1
水素イオン濃度	[—]	8.1	8.2	8.2	8.2	8.1	8.1	8.1 ~ 8.2	—
(pH)		8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1 ~ 8.1	—
化学的酸素要求量	[mg/L]	3.3	3.2	3.0	2.8	2.9	3.0	2.8 ~ 3.3	3.0
(COD)		2.2	2.2	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2 ~ 2.3	2.2
溶存酸素量	濃度	8.4	8.2	8.1	8.5	7.9	8.0	7.9 ~ 8.5	8.2
	[mg/L]	6.9	6.8	7.0	7.3	7.4	7.0	6.8 ~ 7.4	7.1
(DO)	飽和度	106	105	105	111	105	102	102 ~ 111	106
	[%]	94	93	95	99	100	95	93 ~ 100	96
全窒素	[mg/L]	0.76	0.60	0.51	0.46	0.50	0.77	0.46 ~ 0.77	0.60
	(T-N)	0.29	0.28	0.29	0.20	0.33	0.25	0.20 ~ 0.33	0.27
全燐	[mg/L]	0.066	0.054	0.047	0.044	0.051	0.079	0.044 ~ 0.079	0.057
	(T-P)	0.042	0.036	0.042	0.037	0.036	0.033	0.033 ~ 0.042	0.038
クロロフィル a	[μg/L]	6.4	3.8	3.2	4.8	4.0	11	3.2 ~ 11	5.5
	(chl. a)	1.8	1.9	2.2	1.6	2.5	1.9	1.6 ~ 2.5	2.0
n-ヘキサン抽出物質	[mg/L]	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5 ~ <0.5	<0.5
大腸菌群数	[MPN/100mL]	$2.3 \times 10^1$	$4.6 \times 10^1$	$4.0 \times 10^0$	$9.0 \times 10^0$	$2.3 \times 10^1$	$4.6 \times 10^1$	$4.0 \times 10^0 \sim 4.6 \times 10^1$	$2.5 \times 10^1$

注) 上段：上層（海面下1m）  
 下段：下層（海底面上2m）  
 但し、n-ヘキサン抽出物質及び大腸菌群数は、上層の値を示している。

特記事項
------

大気質様式第9号（廃棄物搬入施設関連）

大気質測定結果総括表(大阪基地)[平成30年11月分]

項 目		測 定 点	
		No. 2	No. 3
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	7	7
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0	0
	測定時間数（時間）	168	168
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	7	7
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0	0
	測定時間数（時間）	168	168
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	7	7
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0	0
	測定時間数（時間）	168	168
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0	0
備 考			

大気質測定結果総括表(堺基地)[平成30年11月分]

項 目		測 定 点	
		No. 1	No. 2
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	7	7
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0	0
	測定時間数（時間）	168	168
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	7	7
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0	0
	測定時間数（時間）	168	168
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	7	7
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0	0
	測定時間数（時間）	168	168
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0	0
備 考			

大気質測定結果総括表(泉大津基地)[平成30年11月分]

項 目		測 定 点	
		No.A	No.B
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	7	7
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0	0
	測定時間数（時間）	168	168
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	7	7
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	3	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0	0
	測定時間数（時間）	168	168
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	7	7
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0	0
	測定時間数（時間）	168	168
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0	0
備 考			

大気質様式第 10 号（廃棄物搬入施設関連）

二酸化硫黄測定結果(大阪基地)[平成30年11月分]

測定点		No. 2		No. 3	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	8 (木)	0.004	0.006	0.004	0.007
	9 (金)	0.003	0.003	0.003	0.005
	10 (土)	0.003	0.004	0.003	0.005
	11 (日)	0.003	0.004	0.003	0.005
	12 (月)	0.003	0.005	0.003	0.007
	13 (火)	0.002	0.003	0.002	0.002
	14 (水)	0.002	0.002	0.002	0.002
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.003		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.004		0.004	
1時間値の最高値 (ppm)		0.006		0.007	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0		0	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

二酸化硫黄測定結果(堺基地)[平成30年11月分]

測定点		No. 1		No. 2	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	16 (金)	0.004	0.010	0.005	0.013
	17 (土)	0.004	0.013	0.006	0.022
	18 (日)	0.003	0.005	0.005	0.013
	19 (月)	0.003	0.009	0.005	0.011
	20 (火)	0.004	0.006	0.005	0.007
	21 (水)	0.003	0.008	0.005	0.011
	22 (木)	0.002	0.005	0.004	0.007
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.003		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.004		0.006	
1時間値の最高値 (ppm)		0.013		0.022	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0		0	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

二酸化硫黄測定結果(泉大津基地)[平成30年11月分]

測定点		No. A		No. B	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	24 (土)	0.003	0.006	0.002	0.003
	25 (日)	0.004	0.008	0.003	0.006
	26 (月)	0.004	0.010	0.002	0.003
	27 (火)	0.006	0.012	0.004	0.007
	28 (水)	0.006	0.013	0.003	0.008
	29 (木)	0.004	0.007	0.003	0.006
	30 (金)	0.004	0.006	0.002	0.005
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.004		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.006		0.004	
1時間値の最高値 (ppm)		0.013		0.008	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0		0	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第 11 号（廃棄物搬入施設関連）

一酸化窒素測定結果(大阪基地)[平成30年11月分]

測定点		No. 2		No. 3	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	8 (木)	0.007	0.020	0.012	0.074
	9 (金)	0.011	0.027	0.010	0.041
	10 (土)	0.001	0.004	0.005	0.036
	11 (日)	0.003	0.010	0.003	0.013
	12 (月)	0.012	0.040	0.028	0.112
	13 (火)	0.001	0.009	0.005	0.032
	14 (水)	0.002	0.006	0.006	0.032
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.005		0.010	
日平均値の最高値 (ppm)		0.012		0.028	
1時間値の最高値 (ppm)		0.040		0.112	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

一酸化窒素測定結果(堺基地)[平成30年11月分]

測定点		No. 1		No. 2	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	16 (金)	0.022	0.057	0.020	0.044
	17 (土)	0.014	0.038	0.012	0.043
	18 (日)	0.005	0.040	0.004	0.006
	19 (月)	0.018	0.057	0.008	0.022
	20 (火)	0.029	0.069	0.024	0.095
	21 (水)	0.029	0.087	0.025	0.069
	22 (木)	0.030	0.063	0.030	0.090
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.021		0.018	
日平均値の最高値 (ppm)		0.030		0.030	
1時間値の最高値 (ppm)		0.087		0.095	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

一酸化窒素測定結果(泉大津基地)[平成30年11月分]

測定点		No. A		No. B	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	24 (土)	0.049	0.177	0.011	0.038
	25 (日)	0.021	0.060	0.007	0.020
	26 (月)	0.091	0.240	0.026	0.110
	27 (火)	0.055	0.168	0.025	0.080
	28 (水)	0.073	0.217	0.030	0.095
	29 (木)	0.047	0.181	0.015	0.045
	30 (金)	0.053	0.182	0.008	0.064
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.055		0.017	
日平均値の最高値 (ppm)		0.091		0.030	
1時間値の最高値 (ppm)		0.240		0.110	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第 12 号（廃棄物搬入施設関連）

二酸化窒素測定結果(大阪基地)[平成30年11月分]

測定点		No. 2		No. 3	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	8 (木)	0.022	0.041	0.023	0.046
	9 (金)	0.021	0.030	0.020	0.033
	10 (土)	0.007	0.022	0.009	0.023
	11 (日)	0.013	0.023	0.013	0.026
	12 (月)	0.024	0.052	0.030	0.057
	13 (火)	0.007	0.016	0.009	0.027
	14 (水)	0.006	0.013	0.009	0.023
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.014		0.016	
日平均値の最高値 (ppm)		0.024		0.030	
1時間値の最高値 (ppm)		0.052		0.057	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0		0	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

二酸化窒素測定結果(堺基地)[平成30年11月分]

測定点		No. 1		No. 2	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	16 (金)	0.030	0.047	0.027	0.043
	17 (土)	0.024	0.038	0.019	0.032
	18 (日)	0.013	0.019	0.013	0.018
	19 (月)	0.030	0.047	0.022	0.032
	20 (火)	0.033	0.049	0.025	0.035
	21 (水)	0.035	0.064	0.031	0.055
	22 (木)	0.031	0.048	0.027	0.045
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.028		0.024	
日平均値の最高値 (ppm)		0.035		0.031	
1時間値の最高値 (ppm)		0.064		0.055	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0		0	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

二酸化窒素測定結果(泉大津基地)[平成30年11月分]

測定点		No. A		No. B	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別 値	24 (土)	0.031	0.042	0.022	0.029
	25 (日)	0.024	0.037	0.018	0.027
	26 (月)	0.046	0.063	0.032	0.046
	27 (火)	0.040	0.052	0.032	0.047
	28 (水)	0.043	0.063	0.031	0.054
	29 (木)	0.032	0.044	0.023	0.040
	30 (金)	0.036	0.053	0.015	0.036
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.036		0.025	
日平均値の最高値 (ppm)		0.046		0.032	
1時間値の最高値 (ppm)		0.063		0.054	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		3		0	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第 13 号（廃棄物搬入施設関連）

窒素酸化物(NO+NO<sub>2</sub>)測定結果(大阪基地)[平成30年11月分]

測定点		No.2			No.3		
項目		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日 別 値	8(木)	0.030	73.3	0.054	0.035	65.7	0.105
	9(金)	0.032	65.6	0.057	0.030	66.7	0.068
	10(土)	0.009	77.8	0.025	0.014	64.3	0.051
	11(日)	0.016	81.3	0.029	0.016	81.3	0.033
	12(月)	0.037	64.9	0.092	0.058	51.7	0.152
	13(火)	0.008	87.5	0.023	0.014	64.3	0.059
	14(水)	0.008	75.0	0.019	0.015	60.0	0.055
有効測定日数(日)		7			7		
測定時間(時間)		168			168		
期間平均値(ppm)		0.020			0.026		
日平均値の最高値(ppm)		0.037			0.058		
1時間値の最高値(ppm)		0.092			0.152		
期間平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> )(%)		70.0			61.5		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub>/(NO+NO<sub>2</sub>)の算定方法は、下記のとおりである。

日(期間)平均値NO<sub>2</sub>/(NO+NO<sub>2</sub>)

$$= (\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO}_2\text{濃度の日(期間)間にわたる総和}) / (\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO+NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和})$$

窒素酸化物(NO+NO<sub>2</sub>)測定結果(堺基地)[平成30年11月分]

測定点		No.1			No.2		
項目		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日 別 値	16(金)	0.052	57.7	0.101	0.047	57.4	0.084
	17(土)	0.038	63.2	0.074	0.031	61.3	0.071
	18(日)	0.017	76.5	0.052	0.017	76.5	0.023
	19(月)	0.047	63.8	0.104	0.031	71.0	0.044
	20(火)	0.063	52.4	0.114	0.050	50.0	0.124
	21(水)	0.064	54.7	0.151	0.056	55.4	0.124
	22(木)	0.061	50.8	0.111	0.057	47.4	0.130
有効測定日数(日)		7			7		
測定時間(時間)		168			168		
期間平均値(ppm)		0.049			0.041		
日平均値の最高値(ppm)		0.064			0.057		
1時間値の最高値(ppm)		0.151			0.130		
期間平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> )(%)		57.1			58.5		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub>/(NO+NO<sub>2</sub>)の算定方法は、下記のとおりである。

日(期間)平均値NO<sub>2</sub>/(NO+NO<sub>2</sub>)

$$= (\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO}_2\text{濃度の日(期間)間にわたる総和}) / (\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO+NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和})$$

窒素酸化物(NO+NO<sub>2</sub>)測定結果(泉大津基地)[平成30年11月分]

測定点		No.A			No.B		
項目		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日 別 値	24(土)	0.080	38.8	0.219	0.033	66.7	0.062
	25(日)	0.044	54.5	0.086	0.026	69.2	0.039
	26(月)	0.137	33.6	0.293	0.057	56.1	0.146
	27(火)	0.095	42.1	0.216	0.057	56.1	0.114
	28(水)	0.116	37.1	0.270	0.061	50.8	0.128
	29(木)	0.079	40.5	0.224	0.038	60.5	0.085
	30(金)	0.089	40.4	0.235	0.023	65.2	0.100
有効測定日数(日)		7			7		
測定時間(時間)		168			168		
期間平均値(ppm)		0.092			0.042		
日平均値の最高値(ppm)		0.137			0.061		
1時間値の最高値(ppm)		0.293			0.146		
期間平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> )(%)		39.1			59.5		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub>/(NO+NO<sub>2</sub>)の算定方法は、下記のとおりである。

日(期間)平均値NO<sub>2</sub>/(NO+NO<sub>2</sub>)

$$= (\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO}_2\text{濃度の日(期間)間にわたる総和}) / (\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO+NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和})$$

大気質様式第 14 号（廃棄物搬入施設関連）

浮遊粒子状物質測定結果(大阪基地)[平成30年11月分]

測定点		No. 2		No. 3	
項目		日平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	日平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )
日 別 値	8 (木)	0.017	0.040	0.026	0.043
	9 (金)	0.014	0.039	0.019	0.048
	10 (土)	0.017	0.041	0.020	0.033
	11 (日)	0.024	0.042	0.029	0.052
	12 (月)	0.031	0.058	0.041	0.070
	13 (火)	0.010	0.026	0.010	0.021
	14 (水)	0.004	0.017	0.010	0.020
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.017		0.022	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.031		0.041	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.058		0.070	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0		0	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

浮遊粒子状物質測定結果(堺基地)[平成30年11月分]

測定点		No. 1		No. 2	
項目		日平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	日平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )
日 別 値	16 (金)	0.017	0.033	0.012	0.038
	17 (土)	0.022	0.051	0.017	0.039
	18 (日)	0.015	0.030	0.009	0.028
	19 (月)	0.016	0.030	0.017	0.032
	20 (火)	0.017	0.031	0.014	0.032
	21 (水)	0.023	0.048	0.021	0.033
	22 (木)	0.018	0.040	0.015	0.049
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.018		0.015	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.023		0.021	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.051		0.049	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0		0	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

浮遊粒子状物質測定結果(泉大津基地)[平成30年11月分]

測定点		No.A		No.B	
項目		日平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	日平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )
日 別 値	24 (土)	0.010	0.032	0.009	0.019
	25 (日)	0.016	0.031	0.016	0.037
	26 (月)	0.032	0.049	0.029	0.052
	27 (火)	0.037	0.052	0.033	0.052
	28 (水)	0.036	0.074	0.034	0.065
	29 (木)	0.023	0.035	0.026	0.035
	30 (金)	0.037	0.054	0.037	0.052
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.027		0.026	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.037		0.037	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.074		0.065	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0		0	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第 15 号（廃棄物搬入施設関連）

気象観測結果(風向・風速)(大阪基地)[平成30年11月分]

測定点		No.2				No.3			
項目		風速			最多風向 16方位	風速			最多風向 16方位
		平均風速 (m/s)	最大風速			平均風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位			風速 (m/s)	風向 16方位	
日別値	8(木)	1.4	2.5	NNE	N	1.9	3.7	SW	NE
	9(金)	1.5	2.8	NE	N	1.9	2.8	NE	NE
	10(土)	2.2	4.1	NW	NNW	2.4	5.5	WNW	NNW
	11(日)	1.2	2.2	N	NNW	1.5	2.9	NNE	NNE
	12(月)	1.3	2.0	NNW	NNW	1.4	2.5	NNE	NNE
	13(火)	2.6	4.5	NNW	NNW	2.8	4.5	NNE	NNE
	14(水)	2.4	3.7	NNW	NNW	2.8	4.1	N	N
有効測定日数(日)		7				7			
測定時間(時間)		168				168			
期間平均風速(m/s)		1.8				2.1			
期間最大風速(m/s)		4.5				5.5			
期間最多風向(16方位)		NNW				NNE			

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

気象観測結果(風向・風速)(堺基地)[平成30年11月分]

測定点		No.1				No.2			
項目		風速			最多風向 16方位	風速			最多風向 16方位
		平均風速 (m/s)	最大風速			平均風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位			風速 (m/s)	風向 16方位	
日別値	16(金)	1.0	1.7	WNW	NE	1.7	3.0	ENE, W	ENE
	17(土)	0.8	1.6	WNW	E	1.9	4.5	NNE	E
	18(日)	1.1	1.7	ESE	ESE	1.5	3.0	E	E
	19(月)	0.7	1.5	NNW	N	1.6	3.7	NNE	NNE
	20(火)	0.8	2.0	NW	E	1.5	2.8	NW, NNW	NNE
	21(水)	0.9	1.6	ESE	ESE	1.4	2.8	NE	E
	22(木)	1.2	2.3	WNW	WNW	2.3	4.5	N, NNE	N
有効測定日数(日)		7				7			
測定時間(時間)		168				168			
期間平均風速(m/s)		0.9				1.7			
期間最大風速(m/s)		2.3				4.5			
期間最多風向(16方位)		ESE				E			

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

気象観測結果(風向・風速)(泉大津基地)[平成30年11月分]

測定点		No.A				No.B			
項目		風速			最多風向 16方位	風速			最多風向 16方位
		平均風速 (m/s)	最大風速			平均風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位			風速 (m/s)	風向 16方位	
日別値	24(土)	1.0	2.2	E	ENE	0.7	1.6	E	SSE
	25(日)	1.0	2.3	ENE	ENE	0.9	1.8	NNW	S
	26(月)	1.1	1.9	ENE	ENE	0.6	1.1	E, S	SSE
	27(火)	1.1	2.0	E	ENE	0.8	1.5	N	E
	28(水)	1.2	2.4	WSW	ENE	0.9	2.5	NNW	E
	29(木)	1.2	2.7	WSW	WSW	0.8	1.4	N, ENE	NNE
	30(金)	1.0	2.8	SW	SW	1.0	2.1	SW	S
有効測定日数(日)		7				7			
測定時間(時間)		168				168			
期間平均風速(m/s)		1.1				0.8			
期間最大風速(m/s)		2.8				2.5			
期間最多風向(16方位)		ENE				S			

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第 16 号 (廃棄物搬入施設関連)

風向別出現頻度及び風向別平均風速(大阪基地) [平成30年11月分]

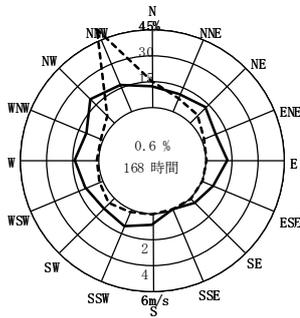
測定点: No.2

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	14	11	3	1	2	2	—	1	3	7	3	1	2	8	84	25	1	168
頻度 (%)	8.3	6.5	1.8	0.6	1.2	1.2	—	0.6	1.8	4.2	1.8	0.6	1.2	4.8	50.0	14.9	0.6	—
平均風速(m/s)	1.4	1.6	1.2	1.7	1.0	0.5	—	0.9	1.4	1.1	1.4	1.8	1.3	2.5	2.1	1.6	0.3	—

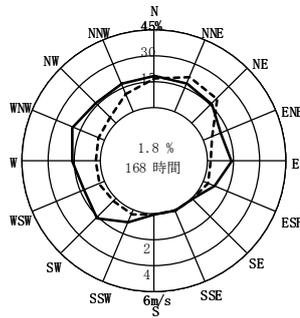
測定点: No.3

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	36	33	8	3	4	—	—	—	4	4	6	5	7	8	19	28	3	168
頻度 (%)	21.4	19.6	4.8	1.8	2.4	—	—	—	2.4	2.4	3.6	3.0	4.2	4.8	11.3	16.7	1.8	—
平均風速(m/s)	2.3	2.1	1.4	1.8	0.9	—	—	—	1.0	2.1	1.7	2.1	2.7	2.2	2.3	2.4	0.2	—

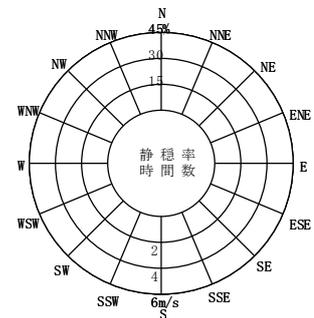
測定点: No.2



測定点: No.3



凡例



風配図 (大阪基地) [平成30年11月分]

風向別出現頻度及び風向別平均風速(堺基地) [平成30年11月分]

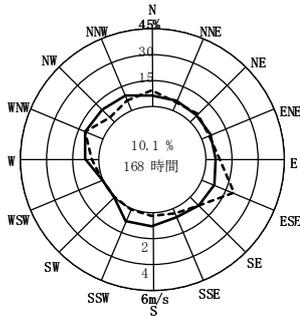
測定点: No.1

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	8	10	8	14	34	12	6	4	1	—	—	6	17	6	10	15	17	168
頻度 (%)	4.8	6.0	4.8	8.3	20.2	7.1	3.6	2.4	0.6	—	—	3.6	10.1	3.6	6.0	8.9	10.1	—
平均風速(m/s)	0.8	0.7	0.8	0.8	1.1	1.0	0.8	1.1	1.1	—	—	1.0	1.4	1.2	1.2	0.8	0.2	—

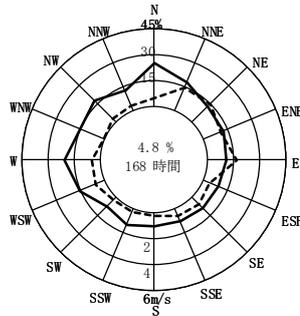
測定点: No.2

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	24	24	17	27	6	8	7	2	3	3	9	8	2	6	6	8	8	168
頻度 (%)	14.3	14.3	10.1	16.1	3.6	4.8	4.2	1.2	1.8	1.8	5.4	4.8	1.2	3.6	3.6	4.8	4.8	—
平均風速(m/s)	2.3	1.6	1.6	1.4	1.2	1.1	1.0	1.0	1.3	1.0	2.0	2.7	2.0	2.3	1.7	3.3	0.3	—

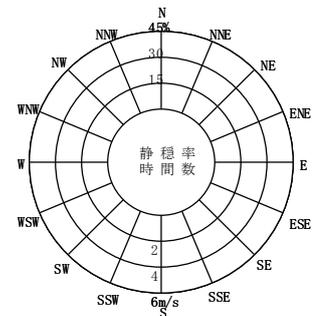
測定点: No.1



測定点: No.2



凡例



風配図 (堺基地) [平成30年11月分]

大気質様式第 16 号（廃棄物搬入施設関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速(泉大津基地)[平成30年11月分]

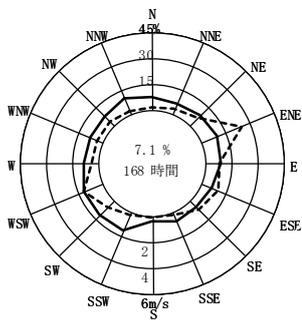
測定点: No.A

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	5	11	41	14	18	12	3	1	3	8	19	6	5	5	3	2	12	168
頻度 (%)	3.0	6.5	24.4	8.3	10.7	7.1	1.8	0.6	1.8	4.8	11.3	3.6	3.0	3.0	1.8	1.2	7.1	—
平均風速(m/s)	0.9	1.1	1.3	1.2	0.9	0.7	0.8	0.4	1.5	1.5	1.5	1.1	1.0	1.0	1.3	1.0	0.2	—

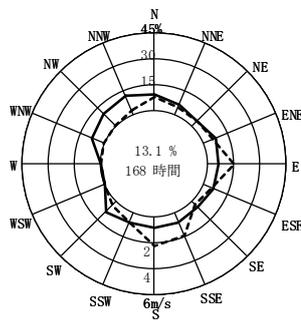
測定点: No.B

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	8	7	10	24	8	3	23	27	10	6	—	—	1	1	5	13	22	168
頻度 (%)	4.8	4.2	6.0	14.3	4.8	1.8	13.7	16.1	6.0	3.6	—	—	0.6	0.6	3.0	7.7	13.1	—
平均風速(m/s)	0.9	0.6	1.0	0.8	0.8	0.6	0.7	0.8	0.8	1.1	—	—	1.1	1.4	1.6	1.3	0.2	—

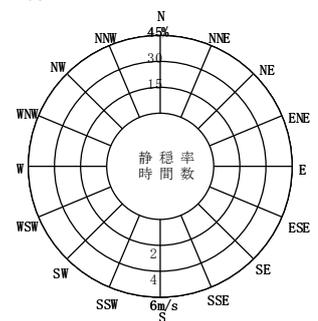
測定点: No.A



測定点: No.B



凡例



風配図 (泉大津基地)[平成30年11月分]

騒音・振動様式第5号（廃棄物搬入施設関連）

道路交通騒音調査結果総括表（大阪基地） [平成30年11月分]

調査日時：平成30年11月8日午前8時～午後6時

調査地点	騒音レベル（デシベル）												主音源
	L <sub>A5</sub>			L <sub>A50</sub>			L <sub>A95</sub>			L <sub>Aeq</sub>			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
No.2	75	74	76	67	65	68	56	53	58	70	69.0	70.7	自動車
No.3	60	55	63	52	50	53	48	46	51	56	52.2	57.5	自動車

注：1. L<sub>A5</sub>、L<sub>A50</sub>、L<sub>A95</sub>の平均値は算術平均値、L<sub>Aeq</sub>の平均値はパワー平均値である。  
2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通騒音調査結果総括表（堺基地） [平成30年11月分]

調査日時：平成30年11月16日午前8時～午後6時

調査地点	騒音レベル（デシベル）												主音源
	L <sub>A5</sub>			L <sub>A50</sub>			L <sub>A95</sub>			L <sub>Aeq</sub>			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
No.1	80	79	83	74	72	75	66	64	68	75	74.1	77.0	自動車
No.2	71	69	72	62	60	63	52	49	54	65	63.9	66.0	自動車

注：1. L<sub>A5</sub>、L<sub>A50</sub>、L<sub>A95</sub>の平均値は算術平均値、L<sub>Aeq</sub>の平均値はパワー平均値である。  
2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通騒音調査結果総括表（泉大津基地） [平成30年11月分]

調査日時：平成30年11月27日午前8時～午後6時

調査地点	騒音レベル（デシベル）												主音源
	L <sub>A5</sub>			L <sub>A50</sub>			L <sub>A95</sub>			L <sub>Aeq</sub>			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
No.A	70	69	71	63	62	64	54	51	55	65	64.3	66.0	自動車
No.B	78	76	79	68	66	69	60	58	61	72	70.3	72.8	自動車

注：1. L<sub>A5</sub>、L<sub>A50</sub>、L<sub>A95</sub>の平均値は算術平均値、L<sub>Aeq</sub>の平均値はパワー平均値である。  
2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

騒音・振動様式第6号（廃棄物搬入施設関連）

道路交通騒音調査結果（大阪基地）〔平成30年11月分〕

調査地点：No.2

調査日：平成30年11月8日

調査時間	騒音レベル（デシベル）				主音源
	L <sub>A5</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Aeq</sub>	
08:00	76	66	53	69.5	自動車
09:00	76	68	57	70.7	自動車
10:00	76	67	56	70.6	自動車
11:00	75	67	56	70.2	自動車
12:00	76	67	56	70.7	自動車
13:00	76	67	56	69.9	自動車
14:00	75	67	57	69.7	自動車
15:00	74	67	58	69.3	自動車
16:00	75	67	57	69.6	自動車
17:00	75	65	55	69.0	自動車
最小値	74	65	53	69.0	
最大値	76	68	58	70.7	
平均値	75	67	56	70	

注：1. L<sub>A5</sub>、L<sub>A50</sub>、L<sub>A95</sub>の平均値は算術平均値、L<sub>Aeq</sub>の平均値はパワー平均値である。

2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通騒音調査結果（大阪基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.3

調査日：平成30年11月8日

調査時間	騒音レベル（デシベル）				主音源
	$L_{A5}$	$L_{A50}$	$L_{A95}$	$L_{Aeq}$	
08:00	62	52	51	57.0	自動車
09:00	61	51	48	56.1	自動車
10:00	59	51	48	55.8	自動車
11:00	59	51	46	54.6	自動車
12:00	61	52	47	57.0	自動車
13:00	55	50	48	52.2	自動車
14:00	60	52	49	54.5	自動車
15:00	57	52	48	54.2	自動車
16:00	60	53	51	55.6	自動車
17:00	63	52	48	57.5	自動車
最小値	55	50	46	52.2	
最大値	63	53	51	57.5	
平均値	60	52	48	56	

注：1.  $L_{A5}$ 、 $L_{A50}$ 、 $L_{A95}$ の平均値は算術平均値、 $L_{Aeq}$ の平均値はパワー平均値である。

2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通騒音調査結果（堺基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.1

調査日：平成30年11月16日

調査時間	騒音レベル（デシベル）				主音源
	L <sub>A5</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Aeq</sub>	
08:00	79	73	64	74.8	自動車
09:00	79	73	65	74.5	自動車
10:00	80	75	67	75.5	自動車
11:00	80	73	66	75.4	自動車
12:00	83	74	68	77.0	自動車
13:00	80	73	66	74.8	自動車
14:00	80	75	67	76.0	自動車
15:00	80	73	67	75.8	自動車
16:00	80	75	66	75.2	自動車
17:00	79	72	66	74.1	自動車
最小値	79	72	64	74.1	
最大値	83	75	68	77.0	
平均値	80	74	66	75	

注：1. L<sub>A5</sub>、L<sub>A50</sub>、L<sub>A95</sub>の平均値は算術平均値、L<sub>Aeq</sub>の平均値はパワー平均値である。  
2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通騒音調査結果（堺基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.2

調査日：平成30年11月16日

調査時間	騒音レベル（デシベル）				主音源
	L <sub>A5</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Aeq</sub>	
08:00	69	63	53	64.1	自動車
09:00	70	61	53	64.2	自動車
10:00	71	63	54	66.0	自動車
11:00	72	61	50	65.7	自動車
12:00	71	62	51	65.4	自動車
13:00	71	62	53	65.1	自動車
14:00	71	61	53	64.9	自動車
15:00	70	61	51	65.6	自動車
16:00	72	61	49	66.0	自動車
17:00	70	60	49	63.9	自動車
最小値	69	60	49	63.9	
最大値	72	63	54	66.0	
平均値	71	62	52	65	

注：1. L<sub>A5</sub>、L<sub>A50</sub>、L<sub>A95</sub>の平均値は算術平均値、L<sub>Aeq</sub>の平均値はパワー平均値である。  
2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通騒音調査結果（泉大津基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.A

調査日：平成30年11月27日

調査時間	騒音レベル（デシベル）				主音源
	L <sub>A5</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Aeq</sub>	
08:00	69	62	54	64.3	自動車
09:00	70	62	53	65.5	自動車
10:00	70	62	52	65.1	自動車
11:00	70	63	54	64.9	自動車
12:00	71	63	51	65.1	自動車
13:00	70	62	54	64.5	自動車
14:00	70	64	55	65.8	自動車
15:00	71	64	55	66.0	自動車
16:00	71	64	55	65.7	自動車
17:00	70	64	54	65.5	自動車
最小値	69	62	51	64.3	
最大値	71	64	55	66.0	
平均値	70	63	54	65	

注：1. L<sub>A5</sub>、L<sub>A50</sub>、L<sub>A95</sub>の平均値は算術平均値、L<sub>Aeq</sub>の平均値はパワー平均値である。  
2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通騒音調査結果（泉大津基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.B

調査日：平成30年11月27日

調査時間	騒音レベル（デシベル）				主音源
	L <sub>A5</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Aeq</sub>	
08:00	76	68	61	70.3	自動車
09:00	78	69	61	72.6	自動車
10:00	78	68	58	71.5	自動車
11:00	79	68	60	72.6	自動車
12:00	79	68	61	72.8	自動車
13:00	78	67	60	71.7	自動車
14:00	79	67	58	72.7	自動車
15:00	78	68	61	71.8	自動車
16:00	77	66	59	70.9	自動車
17:00	78	68	60	71.4	自動車
最小値	76	66	58	70.3	
最大値	79	69	61	72.8	
平均値	78	68	60	72	

注：1. L<sub>A5</sub>、L<sub>A50</sub>、L<sub>A95</sub>の平均値は算術平均値、L<sub>Aeq</sub>の平均値はパワー平均値である。  
2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通振動調査結果総括表（大阪基地） [平成30年11月分]

調査日時：平成30年11月8日午前8時～午後6時

調査地点	振動レベル（デシベル）								
	L 10			L 50			L 90		
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大
No. 2	45	42	47	37	33	39	29	27	30
No. 3	38	36	39	35	31	37	32	27	34

注：平均値は算術平均値である。

道路交通振動調査結果総括表（堺基地） [平成30年11月分]

調査日時：平成30年11月16日午前8時～午後6時

調査地点	振動レベル（デシベル）								
	L 10			L 50			L 90		
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大
No. 1	50	48	51	45	43	46	41	38	43
No. 2	41	38	43	34	31	35	29	28	31

注：平均値は算術平均値である。

道路交通振動調査結果総括表（泉大津基地） [平成30年11月分]

調査日時：平成30年11月27日午前8時～午後6時

調査地点	振動レベル（デシベル）								
	L 10			L 50			L 90		
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大
No. A	45	41	48	41	35	46	38	31	43
No. B	40	36	43	32	30	34	28	26	30

注：平均値は算術平均値である。

道路交通振動調査結果（大阪基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.2

調査日：平成30年11月8日

調査 時間	振動レベル（デシベル）		
	L 10	L 50	L 90
08:00	44	37	27
09:00	47	39	30
10:00	47	39	29
11:00	45	39	30
12:00	46	38	28
13:00	45	37	29
14:00	46	38	30
15:00	45	38	29
16:00	45	35	29
17:00	42	33	27
最小値	42	33	27
最大値	47	39	30
平均値	45	37	29

注：平均値は算術平均値である。

道路交通振動調査結果（大阪基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.3

調査日：平成30年11月8日

調査 時間	振動レベル（デシベル）		
	L 10	L 50	L 90
08:00	38	35	33
09:00	39	36	34
10:00	38	34	31
11:00	39	36	34
12:00	38	34	30
13:00	38	36	33
14:00	39	37	34
15:00	36	33	30
16:00	37	34	31
17:00	36	31	27
最小値	36	31	27
最大値	39	37	34
平均値	38	35	32

注：平均値は算術平均値である。

道路交通振動調査結果（堺基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.1

調査日：平成30年11月16日

調査時間	振動レベル（デシベル）		
	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>
08:00	49	43	39
09:00	50	45	41
10:00	51	46	42
11:00	50	46	43
12:00	49	46	42
13:00	50	45	42
14:00	50	46	42
15:00	50	45	42
16:00	50	45	41
17:00	48	43	38
最小値	48	43	38
最大値	51	46	43
平均値	50	45	41

注：平均値は算術平均値である。

道路交通振動調査結果（堺基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.2

調査日：平成30年11月16日

調査時間	振動レベル（デシベル）		
	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>
08:00	38	33	29
09:00	39	32	29
10:00	41	35	31
11:00	43	35	30
12:00	42	34	30
13:00	41	34	29
14:00	41	35	30
15:00	41	33	29
16:00	41	34	29
17:00	38	31	28
最小値	38	31	28
最大値	43	35	31
平均値	41	34	29

注：平均値は算術平均値である。

道路交通振動調査結果（泉大津基地） [平成30年11月分]

調査地点： No. A

調査日： 平成30年11月27日

調査 時間	振動レベル（デシベル）		
	L 10	L 50	L 90
08:00	41	36	32
09:00	44	41	38
10:00	48	46	43
11:00	48	46	43
12:00	44	37	32
13:00	47	45	42
14:00	48	43	40
15:00	45	42	41
16:00	44	40	38
17:00	42	35	31
最小値	41	35	31
最大値	48	46	43
平均値	45	41	38

注：平均値は算術平均値である。

道路交通振動調査結果（泉大津基地） [平成30年11月分]

調査地点： No. B

調査日： 平成30年11月27日

調査 時間	振動レベル（デシベル）		
	L 10	L 50	L 90
08:00	37	31	27
09:00	39	33	29
10:00	40	34	30
11:00	40	34	30
12:00	43	34	28
13:00	40	32	27
14:00	43	33	28
15:00	41	32	28
16:00	36	30	26
17:00	37	31	26
最小値	36	30	26
最大値	43	34	30
平均値	40	32	28

注：平均値は算術平均値である。

交通量様式第1号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果総括表（大阪基地） [平成30年11月分]

調査日時：平成30年11月8日 8時～18時

調査地点	総交通量（台）				廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	
No. 1	5,169	7,688	12,857	35	0.3
No. 2	4,546	8,017	12,563	23	0.2
No. 3	—	—	—	—	—
No. 4	514	996	1,510	118	7.8

交通量調査結果総括表（堺基地） [平成30年11月分]

調査日時：平成30年11月16日 8時～18時

調査地点	総交通量（台）				廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	
No. 1	11,643	14,298	25,941	69	0.3
No. 2	4,188	11,370	15,558	18	0.1
No. 3	10,011	14,481	24,492	54	0.2
No. 4	306	78	384	342	89.1

注：調査地点No. 4の調査時間については、堺基地入場門の閉鎖時間が17時45分であるため、8時から17時までの9時間とした。

交通量調査結果総括表（泉大津基地） [平成30年11月分]

調査日時：平成30年11月27日 8時～18時

調査地点	総交通量（台）				廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	
No. A	8,590	15,492	24,082	76	0.3
No. B	4,618	4,156	8,774	26	0.3
No. C	1,512	1,916	3,428	182	5.3

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（大阪基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.1

調査日時：平成30年11月8日

時刻	中島方面						歌島橋方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台/時）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台/時）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00	300	678	978	0	30.7	0.0	162	403	565	1	28.7	0.2	462	1,081	1,543	1	29.9	0.1
09:00	344	330	674	2	51.0	0.3	175	366	541	1	32.3	0.2	519	696	1,215	3	42.7	0.2
10:00	453	312	765	3	59.2	0.4	224	361	585	3	38.3	0.5	677	673	1,350	6	50.1	0.4
11:00	374	342	716	2	52.2	0.3	165	459	624	6	26.4	1.0	539	801	1,340	8	40.2	0.6
12:00	332	246	578	2	57.4	0.3	266	390	656	2	40.5	0.3	598	636	1,234	4	48.5	0.3
13:00	272	258	530	2	51.3	0.4	157	367	524	2	30.0	0.4	429	625	1,054	4	40.7	0.4
14:00	416	348	764	2	54.5	0.3	212	378	590	2	35.9	0.3	628	726	1,354	4	46.4	0.3
15:00	288	270	558	0	51.6	0.0	145	475	620	2	23.4	0.3	433	745	1,178	2	36.8	0.2
16:00	247	252	499	1	49.5	0.2	229	433	662	2	34.6	0.3	476	685	1,161	3	41.0	0.3
17:00	228	372	600	0	38.0	0.0	180	648	828	0	21.7	0.0	408	1,020	1,428	0	28.6	0.0
8:00～ 18:00	3,254	3,408	6,662	14	48.8	0.2	1,915	4,280	6,195	21	30.9	0.3	5,169	7,688	12,857	35	40.2	0.3

交通量調査結果（大阪基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.2

調査日時：平成30年11月8日

時刻	中島方面						歌島橋方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台/時）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台/時）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00	234	456	690	0	33.9	0.0	168	414	582	0	28.9	0.0	402	870	1,272	0	31.6	0.0
09:00	290	366	656	2	44.2	0.3	229	378	607	1	37.7	0.2	519	744	1,263	3	41.1	0.2
10:00	339	306	645	3	52.6	0.5	355	361	716	2	49.6	0.3	694	667	1,361	5	51.0	0.4
11:00	222	384	606	0	36.6	0.0	288	534	822	0	35.0	0.0	510	918	1,428	0	35.7	0.0
12:00	266	276	542	2	49.1	0.4	253	372	625	1	40.5	0.2	519	648	1,167	3	44.5	0.3
13:00	171	360	531	3	32.2	0.6	187	540	727	1	25.7	0.1	358	900	1,258	4	28.5	0.3
14:00	361	366	727	1	49.7	0.1	273	582	855	3	31.9	0.4	634	948	1,582	4	40.1	0.3
15:00	222	330	552	0	40.2	0.0	170	570	740	2	23.0	0.3	392	900	1,292	2	30.3	0.2
16:00	128	288	416	2	30.8	0.5	174	438	612	0	28.4	0.0	302	726	1,028	2	29.4	0.2
17:00	90	132	222	0	40.5	0.0	126	564	690	0	18.3	0.0	216	696	912	0	23.7	0.0
8:00～ 18:00	2,323	3,264	5,587	13	41.6	0.2	2,223	4,753	6,976	10	31.9	0.1	4,546	8,017	12,563	23	36.2	0.2

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（大阪基地）〔平成30年11月分〕

調査地点：No.4

調査日時：平成30年11月8日

時刻	海方面						国道43号方面						合計					
	交通量（台/時）			大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台/時）			大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台/時）			大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）			
	大型車 類	小型車 類	計			大型車 類	小型車 類	計			大型車 類	小型車 類	計					
08:00	33	120	153	3	21.6	2.0	0	66	66	0	0.0	0.0	33	186	219	3	15.1	1.4
09:00	58	30	88	10	65.9	11.4	35	78	113	11	31.0	9.7	93	108	201	21	46.3	10.4
10:00	42	30	72	12	58.3	16.7	42	18	60	12	70.0	20.0	84	48	132	24	63.6	18.2
11:00	12	36	48	6	25.0	12.5	30	18	48	6	62.5	12.5	42	54	96	12	43.8	12.5
12:00	30	90	120	6	25.0	5.0	14	36	50	8	28.0	16.0	44	126	170	14	25.9	8.2
13:00	24	78	102	6	23.5	5.9	21	30	51	3	41.2	5.9	45	108	153	9	29.4	5.9
14:00	35	8	43	13	81.4	30.2	22	48	70	10	31.4	14.3	57	56	113	23	50.4	20.4
15:00	32	37	69	3	46.4	4.3	29	26	55	7	52.7	12.7	61	63	124	10	49.2	8.1
16:00	6	36	42	0	14.3	0.0	1	43	44	2	2.3	4.5	7	79	86	2	8.1	2.3
17:00	6	66	72	0	8.3	0.0	42	102	144	0	29.2	0.0	48	168	216	0	22.2	0.0
8:00～ 18:00	278	531	809	59	34.4	7.3	236	465	701	59	33.7	8.4	514	996	1,510	118	34.0	7.8

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（堺基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.1

調査日時：平成30年11月16日

時刻	大阪方面						和歌山方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車		
08:00	528	978	1,506	0	35.1	0.0	383	660	1,043	5	36.7	0.5	911	1,638	2,549	5	35.7	0.2
09:00	638	804	1,442	8	44.2	0.6	569	660	1,229	5	46.3	0.4	1,207	1,464	2,671	13	45.2	0.5
10:00	890	792	1,682	2	52.9	0.1	780	486	1,266	6	61.6	0.5	1,670	1,278	2,948	8	56.6	0.3
11:00	771	648	1,419	3	54.3	0.2	486	498	984	0	49.4	0.0	1,257	1,146	2,403	3	52.3	0.1
12:00	648	546	1,194	12	54.3	1.0	526	432	958	4	54.9	0.4	1,174	978	2,152	16	54.6	0.7
13:00	432	552	984	6	43.9	0.6	501	564	1,065	3	47.0	0.3	933	1,116	2,049	9	45.5	0.4
14:00	662	540	1,202	2	55.1	0.2	773	720	1,493	5	51.8	0.3	1,435	1,260	2,695	7	53.2	0.3
15:00	563	492	1,055	5	53.4	0.5	685	864	1,549	1	44.2	0.1	1,248	1,356	2,604	6	47.9	0.2
16:00	612	702	1,314	0	46.6	0.0	458	1,032	1,490	2	30.7	0.1	1,070	1,734	2,804	2	38.2	0.1
17:00	366	1,284	1,650	0	22.2	0.0	372	1,044	1,416	0	26.3	0.0	738	2,328	3,066	0	24.1	0.0
8:00～18:00	6,110	7,338	13,448	38	45.4	0.3	5,533	6,960	12,493	31	44.3	0.2	11,643	14,298	25,941	69	44.9	0.3

交通量調査結果（堺基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.2

調査日時：平成30年11月16日

時刻	国道26号方面						阪神高速方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車		
08:00	138	462	600	0	23.0	0.0	138	894	1,032	0	13.4	0.0	276	1,356	1,632	0	16.9	0.0
09:00	162	426	588	0	27.6	0.0	165	612	777	3	21.2	0.4	327	1,038	1,365	3	24.0	0.2
10:00	235	408	643	1	36.5	0.2	387	570	957	3	40.4	0.3	622	978	1,600	4	38.9	0.3
11:00	258	498	756	0	34.1	0.0	278	540	818	2	34.0	0.2	536	1,038	1,574	2	34.1	0.1
12:00	246	570	816	0	30.1	0.0	230	552	782	2	29.4	0.3	476	1,122	1,598	2	29.8	0.1
13:00	278	546	824	2	33.7	0.2	182	528	710	2	25.6	0.3	460	1,074	1,534	4	30.0	0.3
14:00	234	558	792	0	29.5	0.0	253	708	961	1	26.3	0.1	487	1,266	1,753	1	27.8	0.1
15:00	133	528	661	1	20.1	0.2	199	450	649	1	30.7	0.2	332	978	1,310	2	25.3	0.2
16:00	198	642	840	0	23.6	0.0	222	552	774	0	28.7	0.0	420	1,194	1,614	0	26.0	0.0
17:00	138	696	834	0	16.5	0.0	114	630	744	0	15.3	0.0	252	1,326	1,578	0	16.0	0.0
8:00～18:00	2,020	5,334	7,354	4	27.5	0.1	2,168	6,036	8,204	14	26.4	0.2	4,188	11,370	15,558	18	26.9	0.1

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（堺基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.3

調査日時：平成30年11月16日

時刻	和歌山方面						大阪方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車		
08:00	408	822	1,230	0	33.2	0.0	427	1,404	1,831	1	23.3	0.1	835	2,226	3,061	1	27.3	0.0
09:00	459	481	940	10	48.8	1.1	518	798	1,316	2	39.4	0.2	977	1,279	2,256	12	43.3	0.5
10:00	615	510	1,125	3	54.7	0.3	779	654	1,433	5	54.4	0.3	1,394	1,164	2,558	8	54.5	0.3
11:00	662	666	1,328	2	49.8	0.2	402	534	936	6	42.9	0.6	1,064	1,200	2,264	8	47.0	0.4
12:00	584	450	1,034	2	56.5	0.2	470	487	957	3	49.1	0.3	1,054	937	1,991	5	52.9	0.3
13:00	430	510	940	4	45.7	0.4	350	462	812	2	43.1	0.2	780	972	1,752	6	44.5	0.3
14:00	561	534	1,095	3	51.2	0.3	609	630	1,239	3	49.2	0.2	1,170	1,164	2,334	6	50.1	0.3
15:00	646	906	1,552	4	41.6	0.3	637	726	1,363	1	46.7	0.1	1,283	1,632	2,915	5	44.0	0.2
16:00	445	972	1,417	1	31.4	0.1	337	529	866	2	38.9	0.2	782	1,501	2,283	3	34.3	0.1
17:00	384	1,380	1,764	0	21.8	0.0	288	1,026	1,314	0	21.9	0.0	672	2,406	3,078	0	21.8	0.0
8:00～18:00	5,194	7,231	12,425	29	41.8	0.2	4,817	7,250	12,067	25	39.9	0.2	10,011	14,481	24,492	54	40.9	0.2

交通量調査結果（堺基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.4

調査日時：平成30年11月16日

時刻	フェニックス方面						堺方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車		
08:00	13	13	26	14	50.0	53.8	0	6	6	0	0.0	0.0	13	19	32	14	40.6	43.8
09:00	25	3	28	28	89.3	100.0	36	3	39	39	92.3	100.0	61	6	67	67	91.0	100.0
10:00	15	3	18	18	83.3	100.0	16	3	19	19	84.2	100.0	31	6	37	37	83.8	100.0
11:00	18	4	22	22	81.8	100.0	20	3	23	23	87.0	100.0	38	7	45	45	84.4	100.0
12:00	24	3	27	27	88.9	100.0	21	2	23	23	91.3	100.0	45	5	50	50	90.0	100.0
13:00	18	0	18	18	100.0	100.0	20	2	22	22	90.9	100.0	38	2	40	40	95.0	100.0
14:00	23	3	26	26	88.5	100.0	18	3	21	21	85.7	100.0	41	6	47	47	87.2	100.0
15:00	14	1	15	15	93.3	100.0	17	1	18	18	94.4	100.0	31	2	33	33	93.9	100.0
16:00	3	0	3	3	100	100	5	25	30	6	17	20	8	25	33	9	24.2	27.3
17:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8:00～18:00	153	30	183	171	83.6	93.4	153	48	201	171	76.1	85.1	306	78	384	342	79.7	89.1

注：堺基地入場門の閉鎖時間が17時45分であるため、調査時間を8時から17時までの9時間とした。

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（泉大津基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.A

調査日時：平成30年11月27日

時刻	大阪方面						和歌山方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車		
08:00	338	1,429	1,767	3	19.1	0.2	238	954	1,192	4	20.0	0.3	576	2,383	2,959	7	19.5	0.2
09:00	405	756	1,161	3	34.9	0.3	278	745	1,023	3	27.2	0.3	683	1,501	2,184	6	31.3	0.3
10:00	588	517	1,105	7	53.2	0.6	426	618	1,044	6	40.8	0.6	1,014	1,135	2,149	13	47.2	0.6
11:00	484	553	1,037	5	46.7	0.5	567	696	1,263	3	44.9	0.2	1,051	1,249	2,300	8	45.7	0.3
12:00	469	792	1,261	1	37.2	0.1	455	648	1,103	5	41.3	0.5	924	1,440	2,364	6	39.1	0.3
13:00	483	660	1,143	3	42.3	0.3	455	642	1,097	5	41.5	0.5	938	1,302	2,240	8	41.9	0.4
14:00	531	636	1,167	3	45.5	0.3	636	643	1,279	13	49.7	1.0	1,167	1,279	2,446	16	47.7	0.7
15:00	463	780	1,243	1	37.2	0.1	458	769	1,227	9	37.3	0.7	921	1,549	2,470	10	37.3	0.4
16:00	372	690	1,062	0	35.0	0.0	410	1,032	1,442	2	28.4	0.1	782	1,722	2,504	2	31.2	0.1
17:00	282	1,068	1,350	0	20.9	0.0	252	864	1,116	0	22.6	0.0	534	1,932	2,466	0	21.7	0.0
8:00～18:00	4,415	7,881	12,296	26	35.9	0.2	4,175	7,611	11,786	50	35.4	0.4	8,590	15,492	24,082	76	35.7	0.3

交通量調査結果（泉大津基地） [平成30年11月分]

調査地点：No.B

調査日時：平成30年11月27日

時刻	泉北方面						助松JCT方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）	交通量（台/時）				大型車混入率（%）	廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車			大型車類	小型車類	計	廃棄物輸送車		
08:00	162	132	294	0	55.1	0.0	182	576	758	2	24.0	0.3	344	708	1,052	2	32.7	0.2
09:00	212	108	320	2	66.3	0.6	259	264	523	1	49.5	0.2	471	372	843	3	55.9	0.4
10:00	188	192	380	2	49.5	0.5	288	138	426	0	67.6	0.0	476	330	806	2	59.1	0.2
11:00	242	157	399	3	60.7	0.8	295	156	451	1	65.4	0.2	537	313	850	4	63.2	0.5
12:00	276	126	402	0	68.7	0.0	344	168	512	2	67.2	0.4	620	294	914	2	67.8	0.2
13:00	211	139	350	2	60.3	0.6	283	222	505	1	56.0	0.2	494	361	855	3	57.8	0.4
14:00	224	175	399	3	56.1	0.8	307	156	463	1	66.3	0.2	531	331	862	4	61.6	0.5
15:00	236	181	417	3	56.6	0.7	248	210	458	2	54.1	0.4	484	391	875	5	55.3	0.6
16:00	169	252	421	1	40.1	0.2	180	228	408	0	44.1	0.0	349	480	829	1	42.1	0.1
17:00	174	300	474	0	36.7	0.0	138	276	414	0	33.3	0.0	312	576	888	0	35.1	0.0
8:00～18:00	2,094	1,762	3,856	16	54.3	0.4	2,524	2,394	4,918	10	51.3	0.2	4,618	4,156	8,774	26	52.6	0.3

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（泉大津基地）〔平成30年11月分〕

調査地点：No.C

調査日時：平成30年11月27日

時刻	フェニックス方面						泉大津方面						合計					
	交通量（台/時）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台/時）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台/時）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00	52	94	146	14	35.6	9.6	24	42	66	0	36.4	0.0	76	136	212	14	35.8	6.6
09:00	100	100	200	8	50.0	4.0	39	96	135	15	28.9	11.1	139	196	335	23	41.5	6.9
10:00	88	100	188	14	46.8	7.4	96	82	178	10	53.9	5.6	184	182	366	24	50.3	6.6
11:00	73	54	127	13	57.5	10.2	130	112	242	14	53.7	5.8	203	166	369	27	55.0	7.3
12:00	19	86	105	3	18.1	2.9	58	105	163	7	35.6	4.3	77	191	268	10	28.7	3.7
13:00	97	72	169	7	57.4	4.1	137	68	205	13	66.8	6.3	234	140	374	20	62.6	5.3
14:00	78	80	158	14	49.4	8.9	134	94	228	12	58.8	5.3	212	174	386	26	54.9	6.7
15:00	97	71	168	12	57.7	7.1	105	141	246	12	42.7	4.9	202	212	414	24	48.8	5.8
16:00	77	61	138	6	55.8	4.3	66	80	146	8	45.2	5.5	143	141	284	14	50.4	4.9
17:00	30	30	60	0	50.0	0.0	12	348	360	0	3.3	0.0	42	378	420	0	10.0	0.0
8:00～ 18:00	711	748	1,459	91	48.7	6.2	801	1,168	1,969	91	40.7	4.6	1,512	1,916	3,428	182	44.1	5.3